令和7年度　城西こども園　園評価及び学校関係者評価

城西子ども園では、令和７年度、教育保育等及びその他の運営の状況について、保育者及び保護者におけるアンケート調査を踏まえ、全保育者による共通理解の下で自己評価を行い、さらに、自己評価の客観性を高めるために、学校関係者評価委員会を設け、関係者による評価を行いその結果を公表致します。

令和8年３月　城西こども園　園長　篠塚祐英

《評価の観点》

教育・保育の基本

教育・保育の内容と質の向上

保健・環境

食育

連携《保護者・地域・小学校》

保護者・保育者アンケート評価判定基準 （保護者、保育者それぞれの平均値を平均した値）
A　そう思う＋ややそう思う　７５%以上
B　そう思う＋ややそう思うが６０%以上７４%未満
C　そう思う＋ややそう思う６０%未満

関係者評価の基準
A　園の評価を納得できる
B　園の評価を大体納得できる
C　園の評価を納得できない

園の総合評価					関係者評価委員による判定及び講評	
評価観点	内容	園の評価		保育者＋保護者アンケート結果と判定	関係者評価	
		判定	取り組み状況と課題		判定	講評
基本	あなたは保育の軸となる園の保育理念や目標などの理解に努めていますか。	A	☆保育者一人一人が、城西こども園の保育の根幹となる理念や目標の理解に努め、大切にしながら保育に当たった。 ☆今年度は「一人一人が主役となる」保育を目指して研修を重ねたことにより、子ども一人一人が何を求めているのかを丁寧に聴くことで子どもが何を感じ何を求めているのかを読み取り、関わることで信頼関係が築かれ、さらに子どもが面白がる環境を作ることにも繋がっていったというな自己評価が多くの保育者からよせられた。そこには子どもの人権を守る園内研修を3回ほど行った効果も見え、今後も続けていきたい。また、「絵本を育ちの柱として」の目標は日々の保育に活かされ、各クラスで絵本から生まれるイメージの世界を、つなげる、広げる、深める学びとなった。 ☆水痘とインフルエンザの発症が発表会と重なったことも原因の一つと考えられるが、多くの感染者を出したことを反省し、今後の対応・対策を考える。 津波を想定しての初めての小学校屋上避難が行われた。小学校との連携を提案し、警察も出動しての訓練であり、今回は年長児だけの参加であったが、いずれ全員参加の訓練になれば良いと考える。 ☆来年度は少しずつデジタル化を進め、保育中の子どもの様子が保護者に届くようにしていく事を課題とする。	A 100%	A	◎評価の通り、保育理念等が保護者にも理解されている。保育指針をもとに、子ども一人一人が自由に伸び伸びと活動できている。それが2回の保育参観から見て取れる。保育空間の活用、素材の準備、子ども一人一人のつぶやきを見逃さない素晴らしい対応であった。園の評価に納得できる。 ◎保育者の多くは、子ども一人一人に向き合い、関わり、子どもとの信頼関係を築き、子どもが面白がる環境を作ることに繋がったと思う自己評価がなされたことは素晴らしい。保育者自身が子ども達との時間を楽しんでいる。 ◎絵本から生まれるイメージの世界を、つなげる、広げる、深める学びは、保育参観で見て取れた。子ども達のイメージの世界が表現されている！しかし以上児の保護者にCの評価があったのが気になった。 ◎子どもにとって大切なのは①安心・安全②居場所③質の高い教育・保育である。城西こども園ではこの3つに対する取り組みがよくなされていると思う。 ◎保育の時間、どのような活動であろうとも保育者の安全配慮は素晴らしかったと思う。 ◎ウイルス感染について、厳しい意見もあり、今後の具体的対策を考える。 拡大を防ぐために、発表会等の行事を取りやめる事ができるか？難しい問題である。 ◎かなり対応が難しかったと思うが”命を守る”視点でこれからも対策をお願いする。 ◎玄関の掲示物、お便りから園の様子がみてとれる。保護者も安心され、連携もとれていると思う、園の評価に納得。素晴らしいと思う。
教育保育の内容と質の向上	あなたは、子どもの発達や興味、関心に応じた保育にあたるため、子どもが今、何に興味関心をもっているか、どうしたらもっと遊びが広がっていくかなどを考えながら、見通しをもった計画を立てたり保育にあたったりしていますか。	A		A 100%	A	
	あなたは保育の質の向上のために、園外や園内の研修の機会を大切にしながら、子どもの主体的性を育む手だてを考え、子ども自身が”やってみたい！”と思うような保育の工夫に努めていると思いますか。	A		A 99%	A	
	あなたは、子ども達に言葉への興味やイメージの世界が広がっていくように、絵本に親しむ環境を整備し、読み聞かせを心掛け、絵本から広がる遊びを大事にしていますか。	A		A 98%	A	
	あなたは、行事が子ども達の負担にならないように、日々の延長として保育を捉え、状況に応じた、安全かつ子どもが自ら喜んで参加できるような工夫に努めていますか。	A		A 99%	A	
保健・環境	あなたは、子どもが安心して園ですごせるように、園舎や遊具の点検、クラスハザードマップや安全チェックリストでの確認や、玩具などの消毒や環境の整備、又、換気や密の回避、消毒や手洗い励行など、できる限りの感染対策を心がけていますか。	A		A 98%	A	
	あなたは安全計画に従って、火災、地震、風水害、不審者などの避難訓練や散歩時などでの交通指導を行い、安全、防犯に努めていますか。	A		A 100%	A	
連携支援	園やクラスの状況を、送迎時や、育ちのレポート、クラス便り、連絡ノートなどで伝えたり、写真やマップ等を使って保育の可視化や「キラキラがいっぱい」の掲示物や参観時の資料など、クラスの状況や子ども達の学びの様子をわかりやすく知らせるなど、保護者との連携に努めていますか。	A		A 97%	A	
	あなたは、保護者から寄せられたご意見や要望について誠意ある対応に努めていますか。	A		A 100%	A	

食育	あなたは、子どもが楽しく食事が出来る環境を整えたり、一人一人の発達に応じた関わりに努めたり、食事やおやつの様子を保護者に伝えるなど、食育を意識しながら保育をしていますか。	A	☆今年はじゃがいもが不作で収穫が出来なかったが、年長児が栽培した夏野菜やガーデンに植えられた野菜を見たり食べたりすることでよろこんだ。又、野菜の花の違いにも興味を持った。 0歳児は離乳食などの相談が多い、専門的知識を深めて保護者との連携が必要。 ☆未満児は個人差が大きいので一人一人の発達を把握し保育を行うことを心掛けた。又、子どもを理解するためには家庭との情報共有が重要なため、毎日の連絡帳や送迎時などで話を重ねていった。個々の発達を理解した上でその子に合わせた環境を整えることの大切さ、そうすることで子どもの笑顔と意欲に繋がることを肌で感じている。又自然に親しみ外気に触れることの大切さから、未満児、以上児とも戸外に出る機会を多く持つようにしている。そして、草花を遊びに取り入れたり、生き物を飼育したり、そこに生命の繋がりや自然の美しさを感じ、好奇心や探究心を持って遊びを楽しむ子どもの姿が見られた。 また、イメージしたこと、体験したことをなどを様々な方法で表現する力は日々の遊びの中で確実に育っていることが見て取れる。個別に、あるいはグループで力を合わせて、と様々であるが、友達と楽しく活動する姿には、友達の意見を聞いたり、折り合いをつけながら活動する規範意識の育ちが見られる。 ☆異年齢の結びつきがすこしづつ広がっている。 ☆年長児保育参観時に西与賀小学校校長先生にも来ていただき、園での学びの様子を見てもらった。	A 100%	A	◎連絡帳の内容には厳しい意見があったが、園（保育者）としては、子ども理解のために、家庭との情報共有を大切にしているのはとても大切なことだと思う。 ◎保護者からの総合評価はすべてAである。これからも保育者は自信を持って教育・保育に当たっていただきたい。 ◎食育は子どもの体・心にとって大切な領域。園・保育者とも実践されていることに感銘を受けた。 ◎実際に野菜の収穫をすることは大切！花の違いにまで興味を持ったことはすごいと思う。 ◎離乳食は食の始まり。専門的知識を深めて保護者との連携をしっかり取って欲しいと思う。 ◎遊びを通して興味関心を引き出そうと丁寧に保育がなされている。園の評価に納得。 ◎保育参観を通し、保育者の子どもに接する姿、言葉かけが本当に素晴らしいと思った。子ども達も、本当に先生を信頼している姿が見て取れました。園の評価に納得です。 ◎保育参観の中で保育者子ども達の願いをしっかりと受け止め、対応されている姿が見て取れた。 ◎イメージしたことや体験したことを表現する力は日々の遊びの中で確実に育っていることと、友達と楽しく活動することで人間関係の育ちが見れて素晴らしいことだと思う。これからも、子ども達が主体的に遊び、学び、育ち合う保育に取り組んでいただくことを期待します!! ◎友達同士、又、保育の中で、相手を思いやる気持ちなど育むことが出来ていると思う、その様子が保護者に理解していただけると良いですね。 ◎異年齢交流を通し、思いやり、助け合い、大きい子には責任感など素晴らしい効果が期待できます。保育者の子どもとの関わりも素晴らしいと思う。
教育保育の内容と質の向上（未満児）	あなたは、子どもが自ら体を動かそうとする意欲が育つことを願って、子どもが伸び伸びと体を動かし、この時期の遊びが充実したものとなるよう、個別の計画を意識しながら、一人一人の興味や関心にあった関わりを心掛けていますか。	A		A 100%	A	
	あなたは、子ども達に優しく声をかけたり、スキンシップをとったりしながら、子どもたちが好きな先生と安心感を持って過ごせるように心掛けていますか。	A		A 100%	A	
	あなたは、子ども達が自然に親しみ、触れあう中で冷たい、暖かい、きれい、不思議などの感覚や感性が育つようにと散歩に出かけたり、戸外遊びを行ったり、外気に触れながら自然に触れる機会を多く取り入れるようにしていますか。	A		A 100%	A	
教育保育の内容と質の向上（以上児）	あなたは、子どもが心に思ったことや感じたこと、考えたことを言葉や歌やダンス、あるいは描いたり作ったりと自由に表現できる環境作りや、子ども達の表現しようとする意欲を受け止め、楽しんで表現できるよう援助に努めていますか	A		A 100%	A	
	あなたは、仲立ちをしながら、子ども達が生活や遊びをよりよくしようとする姿を認めたり励ましたりしながら関わり、生活や遊びの中で、してよいことや悪いこと、ルールがあることや自分も友達も大切なことなど、子どもの道徳心や規範の芽生えを育もうと努めていますか。	A		A 97,9%	A	
	あなたは、同年齢と異年齢で過ごすそれぞれの良さを大切にし、異年齢児との関わの中では、子ども達の間で「みようみまね」の伝承や、思いやりの心、あこがれの心などが育つようにと努めていますか。	A		A 100%	A	
連携支援	卒園児や小学校との交流、あるいは小学校の先生方の保育参観や研修会を通して 子ども達がスムーズに入学できるよう心掛けています。あなたは、小学校との架け橋となる「幼児期に育って欲しい姿」を意識し、子どもの育ちを読み取るなどして、教育・保育に努めていると思いますか。	A		A 100%	A	

関係者評価委員会による評価を終えて

関係者評価委員の皆様には、公開保育や年長児保育参観、また発表会リハーサルの様子を見ていただきました。
委員の方から、「子ども一人一人が主役」を研究テーマに、先生方が子ども一人一人の思い・願いを大切にすることで子ども同士の関わり合い、自由にのびのび活動できている。2回の保育参観を通してその様子が見て取れた」として、委員の皆様からすべての項目において高い評価を頂きました。
また、「保護者が園を信頼され、安心して子どもを預けられていることが評価結果から伝わりました。日頃から職員の皆さんが、子ども達に愛情を持って接し、よりよい保育を目指すと共に、研修会や職員会を通し、保育の時間の振り返りを行い、保育の時間の充実を図られているからだと思います。」との評価も頂きました。
こうした、皆様から保育者の努力を認めていただいたことが、”さらによりよい保育をめざそう！”、という大きな力となります。
ほかにもたくさんのご助言を頂きました。保育の背景にあるものも様々です。その中で、かえられるもの、かえなければならないもの、かえられないもの、かえてはいけないもの、を見極めながら、これからの保育が”子どもにとって”よりよいものであるよう努力を重ねていきたいと思います。